

研究課題名	武蔵野赤十字病院における転倒転落の危険因子についての調査検討
研究機関名	武蔵野赤十字病院薬剤部、神経内科、リハビリテーション科、看護部、医療安全推進室
研究責任者	所属 薬剤部 氏名 細谷龍一郎
研究期間	平成 27年 6月 ～ 平成 29年 6月
研究の意義・目的	<p>院内発症の転倒転落は入院期間の延長だけでなく、患者の予後に大きく影響する事象である。全国で転倒転落の調査報告があり、環境などの外的要因、薬剤、症状等の内的要因などの検討が行われている。しかし、報告されている施設間でデータの差異がみられ、他施設での調査結果を当院の転倒転落対策に当てはめることはできない。また、当院での転倒に関するデータを収集してから期間も空き、最新事例での検討が必要と考えた。そのような背景から当院での転倒転落事例を調査することにした。</p> <p>今回の研究では、多職種の見点からリスクの抽出を行い、そのすべてを検討の範囲とする。その分析結果から当院の転倒・転落の傾向を理解し、転倒転落のリスクを可能な限り回避するための対策を講じていく予定である。</p>
研究の方法 (対象期間含む)	<p>【1】患者登録 調査期間中に転倒転落を起こした患者を、当院で使用しているインシデント・アクシデントレポート (CLIP) より抽出し患者登録を行う。 また、対照群として、同期間に入院し、転倒を起こさなかった全ての患者を登録する。</p> <p>【2】臨床データの収集 ・入院中に転倒を起こした患者群 医療安全推進室に集約されているインシデント・アクシデントレポートより患者情報を収集する。 ・対照群 転倒発生群と同じ期間に入院中の患者のなかからランダムにピックアップしたデータを抽出する。 ※転倒を引き起こす因子解析には、対照群との比較が不可欠と考え 本研究に取り入れることになった。 転倒をおこした患者群、対照群について、年齢、身長、体重、ADL、入院理由、現病歴、既往歴、使用薬剤、治療スケジュール、麻痺の有無、運動障害部位、その他必要と認められる事項をカルテより抽出する。転倒転落に関わると思われるリスク因子を多職種の見点から検討し、上記の項目に加え電子カルテより抽出する。</p> <p>【3】解析 臨床データ収集された各項目で単変量解析をおこない、オッズ比、95%信頼区間の算出を行う。さらに有意水準 (5%) を満たした各項目に対し、変数増減法 (ステップワイズ法) による多重ロジスティック回帰分析をおこなう。 使用解析ソフトは JMP PRO ver. 11 または JMP PRO ver. 12 を用いる。</p>
個人情報の取扱い	登録患者の臨床データの送付および形跡結果の報告は、研究登録時に発行される登録コードを用いて行われるため、患者の氏名、住所などの個人情報が他の施設に報告されることや公表されることはない。個人情報を扱った情報はUSBメモリーに保存し、武蔵野赤十字病院薬剤部内の施設可能な場所に保管する。データの保存期間は研究終了後10年間とし、その後破棄する。保管管理者は武蔵野赤十字病院薬剤部 細谷龍一郎薬剤師とする。
問合せ先	<p>当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 薬剤部 氏名 細谷龍一郎 TEL : 0422-32-3111 (代表) 6813 (事務局内線) FAX : 0422-32-3525</p>